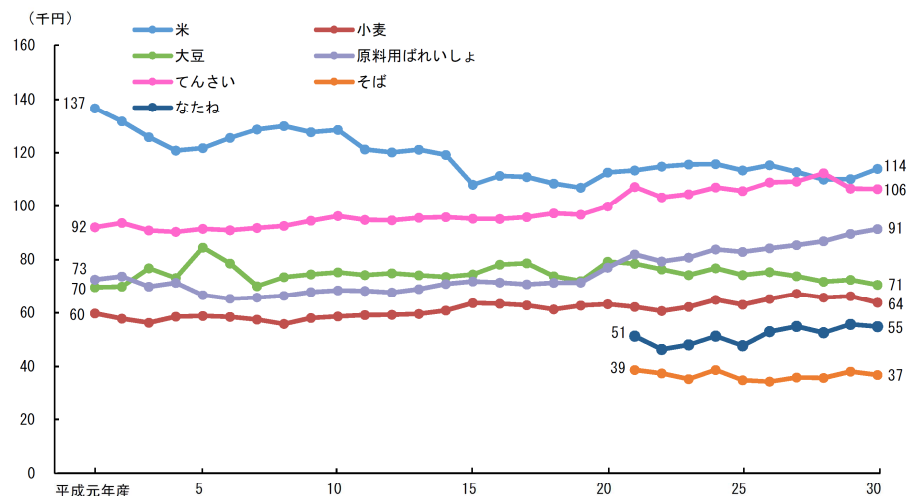


4 農産物生産費統計

■ 作物別10a当たり全算入生産費

・平成30年産の米の10a当たり全算入生産費は平成元年産に比べ約17%減少している。また、原料用ばれいしょ及びてんさいは増加しているが、その他の作物はおおむね横ばいで推移している。



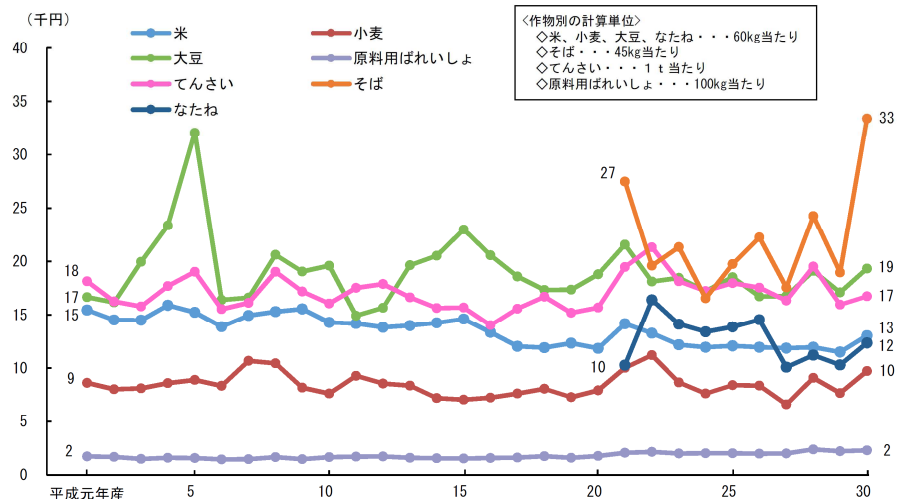
資料：農林水産省統計部「農産物生産費統計」（以下「原料用ばれいしょ生産費」まで同じ。）

注：1 農産物生産費調査は、平成3年、6年、7年、10年、17年及び19年に一部改正を行っており、厳密な意味で連続しないので、利用にあたっては十分留意されたい。（以下「原料用ばれいしょ生産費」まで同じ。）

2 そば及びなたね生産費については、平成20年産以前は調査を実施していない。

■ 作物別計算単位当たり全算入生産費

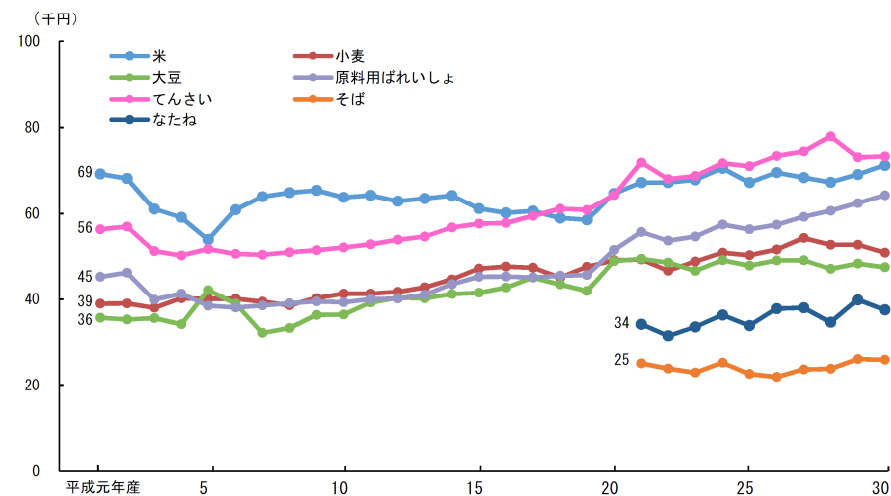
・平成30年産の米の単位当たり全算入生産費は平成元年産に比べ約16%減少しているが、その他の作物はおおむね横ばい又は増加している。



＜作物別の計算単位＞
 ◇米、小麦、大豆、なたね・・・60kg当たり
 ◇そば・・・45kg当たり
 ◇てんさい・・・1t当たり
 ◇原料用ばれいしょ・・・100kg当たり

■ 作物別10a当たり物財費

・平成30年産の10a当たり物財費は、平成21年産に比べ大豆を除く各作物で増加傾向となっている。



■ 作物別10a当たり労働時間

・そばを除く各作物で10a当たり労働時間は減少傾向となっている。特に米及び大豆は30年間で2分の1程度に減少している。一方、小麦の労働時間はわずかな減少にとどまっている。

